

- シェアリングエコノミーの推進によって、**地域の既存リソースの有効活用等を進めることによる地域活性化や、個人間のサービス提供による行政・公共サービスの補完**につながることを期待されている。
- そこで、地域経済の好循環の更なる拡大に向け、シェアリングエコノミーを活用して、**地域の社会課題解決を図る**ため、地方公共団体による取組を支援。

**対象事業** シェアリングエコノミーを活用し地域の社会課題解決を図る取組のうち、**新規性・モデル性の極めて高いもの**

イメージ

地域における課題

- 子育て支援
- 空きスペース対策
- 地域の足の確保
- 地域人材の活用 等

地方公共団体が活用し、地域課題を解決

シェアリングエコノミー

<地域の活用されていない資源>

- ◆ 遊休スペース（空き家、廃校など） ◆ 主婦等のすきま時間
- ◆ 活用されていないスキル ◆ 使っていないモノ 等

プラットフォーム

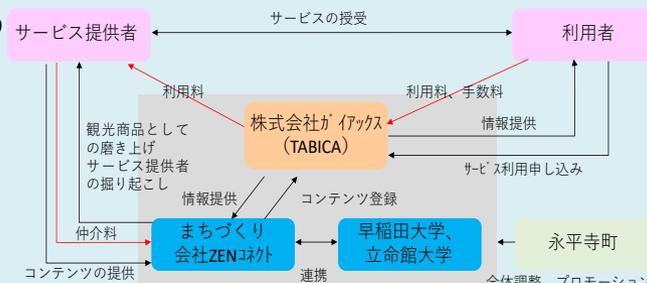
<地域住民のニーズ>

- ◆ 一時的な活動場所が欲しい ◆ クラウドワーカーとして働きたい
- ◆ 部屋の空きスペースを活用したい ◆ 何かあった時に子育てを頼る人が欲しい 等

モデル事業（例）

福井県永平寺町 地域資源を承継する“縁”パーメント推進事業（R元）

・地域資源の体験プログラム商品化のため、まちづくり会社と大学が連携し、学生の視点を取り入れた地域資源の掘り起こしや、ボードゲーム形式のシェアリングエコノミー普及啓発ツールを開発。  
 ・利用者がサービス提供者に支払う料金の一部を中間支援組織であるまちづくり会社が仲介料として受け取り運営費に充てる仕組みを構築。



三重県紀北町 相乗り運送実証事業（H30）

・「住民による住民の移動手段の確保」という新たな方式の運送「あいのり運送」実証事業を実施。  
 ・地域で自家用車を所有する方がその車を使って、地域の移動手段のない方を、ドア・ツー・ドアで目的地まで移送。

